

# 消防車のショールームですか？ いいえ、消防署です！

さいたま市の岩槻区に、これまでの消防署のイメージをくつがえす近代的な建物の消防署があるというので行ってきました。

今回取材にご協力をいただいたのは…



**時東あみさん**

(株)サンミュージックプロダクション所属。タレント、ラジオパーソナリティ。防災士、上級救命講習修了の資格を持ち、防災や救命活動に関心が高く、自身の番組で特集を組んだり、関連イベントにも積極的に参加。



さいたま市消防局  
岩槻消防署 消防2課  
課長

溝淵和文さん



さいたま市消防局  
岩槻消防署 消防2課  
救助係 係長

菅井清彦さん



さいたま市消防局  
総務部 消防施設課  
施設整備係 係長

川澄貴志さん



さいたま市消防局  
総務部 消防施設課  
施設整備係 主任

大桐洋祐さん

**岩槻消防署**は、埼玉県さいたま市岩槻区にあるさいたま市消防局が管轄する消防署。

移転して新築された建物は、消防車両を充実させて消防力や災害対応力を強化。さらに設備も一新し、災害活動の拠点として、また地域防災コミュニティの核として位置づけられる消防署に生まれ変わりました。

## 仮眠室はすべて個室、トレーニングルームや放水壁も設置！

**時東**：設備としては、屋上に太陽光発電をするためのソーラーパネルや、雨水をためる設備もありますね。

**川澄**：トイレや屋上緑化散水に利用しています。ちょっと変わったところでは、災害用のマンホールトイレを3つ、訓練塔の1階につくりました。

**時東**：まわりにテントを張るだけでいいんですね。3つも用意されているので、災害時には助かりますね。

**川澄**：災害用の井戸も設置されていて、飲料水にすることはできませんが、非常用の水源として確保しています。

**時東**：2階にはずっとホテルのような部屋が並んでいますが、あれは仮眠室なんですね。

**溝淵**：そうですね。仮眠室というと、これまでは大部屋にベッドが置いてあって、簡単なパーティーで仕切られていただけ、そんなところが多いんですが、ここはプライバシーに配慮した個室で、全部で32室あります。

**時東**：トイレや浴室も清潔で、男性用と女性用がしっかりと確保されていますね。ということは、女性職員もいらっやる？

**溝淵**：さいたま市では現在50名ほどの女性職員がいますが、残念ながら岩槻消防署にはまだおりません。でも女性の受け入れ環境が整ったので、これからは女性も加わって戦力になってくれることを期待します。

**時東**：隊員の体力向上のために、トレーニングルームもありますね。

**溝淵**：他にも会議室や食堂も完備されていて、職員が調理して食事をとることができます。

**時東**：訓練塔の外壁は、特徴的な構造となっていますが、あれにも秘密があるんですか？

**溝淵**：よくお気づきになりましたね。岩槻消防署の敷地内にある訓練塔も特色のひとつで、ここでは放水訓練、渡過訓練等ができます。放水訓練のための放水壁は、水のはね返りを防ぐ二重構造になっていて、放水した水が防火水槽に戻る循環式となっています。この設備があるのは、さいたま市では岩槻消防署だけです。主に消防隊、救助隊が訓練のために使いますが、岩槻管内の出張所や消防団の方が来て使うこともあります。

**時東**：放水訓練、私も挑戦してみたいんですが、防火服がとっても重かった！この重い防火服を1分で着られないとダメなんですね。

**菅井**：結構体力がいるでしょう。放水訓練は、ホースが重いのとしっかり狙いをつけるために二人で組んでやるんですが、ただ放水するだけではなくて、室内の冷却を目的としたスポット注水といった、状況にあわせた放水方法があるんです。訓練塔の間にはロープが張られていて、河川が氾濫したときの救助を想定した渡過訓練もできますよ。



## 驚きを隠せない、消防署とは思えない外観と広い敷地！

**時東**：ウワーキレイ！これって消防署でいいんですね。いつ建てられたんですか？

**溝淵**：昨年（令和2年）7月です。岩槻消防署は昭和47年の開署から40年以上が経過し、庁舎が老朽化していました。なによりも敷地が狭かったため、消防車両も

十分に配備できず、近年災害が多様化しているのに、その対応も困難に感じられるようになってきたんです。そこで岩槻区のエリアを均等にカバーでき、広さにも余裕のある場所として、建て替え計画とともにこちらに移転したんです。

## 岩槻区を象徴する山吹色をアクセントに、シックな色合いを大切にした消防署

**時東**：緊急車両は、どんな種類のクルマがありますか？

**溝淵**：先端屈折式はしご車、小型水槽付きポンプ車、化学車、救助工作車、高規格救急車、非常用救急車、指揮車、それに資機材搬送車などです。岩槻消防署は水難救助対応補完部隊に指定されており、ボートなどを積んでいるコンテナ着脱式の資機材搬送車も配備しているんです。

**時東**：まず驚いたのは、これまでのイメージを一新したスタイリッシュというか近代的なショールームのような建物ですが、どんな消防署にしかたったのでしょうか？

**川澄**：まず扉をこれまでのオーバーヘッドドアではなく、横開きの折れ戸にしたこと。全面ガラス張りとなっていて、とても明るく開放感があります。他の消防署

なども大いに参考にさせていただきました。さいたま市には消防署と出張所が26か所ありますが、そのうちの8か所がこの扉を使っているんです。岩槻消防署では岩槻区の「区の色」である山吹色をアクセントとして扉の上に使い、ガラス折れ戸の枠をライトブラウンの特注色としました。

**時東**：シックな色合いの扉だから、赤い消防自動車が引き立ちますね。

**大桐**：扉の枠と同じように、岩槻消防署はナチュラルなイメージを大切にしました。2階へ上がる階段や手すりに木を使い、和のテイストをふんだんに取り入れています。職員が気持ちよく働けることはもちろん、消防署に来た方に親しみを感じていただくことも大事ですから。

## 電動で一斉にオープンできる扉、手動でも簡単に開閉！

**時東**：今日も取材中に、救急車の出場が2件ありましたが、岩槻消防署ではどのくらいの頻度で出場しますか？

**溝淵**：救急車は1日平均で5件くらい、消防車は1日1〜3件といったところでしょうか。岩槻区は面積が広く高速道路もあるので、火災のほか事故対応の出場も多いですね。

**菅井**：緊急出場するときには、このライトブラウンの扉を開放するわけですが、従来のオーバーヘッドドアだと、開閉に問題が生じて消防車の出場を妨害したなんてこともありました。

**大桐**：オーバーヘッドドアには電動もあるんですが、それは一部にしかなくて、とにかく大きいですから手で開けるには力が必要ですね。

**時東**：出場に支障をきたさないよう、いつも扉を開放しているという話を聞きますが？

**菅井**：最近では運用が変わってきていて、閉めるようになってきました。不用心で、盗難などが心配ですから。この扉は、各扉の近くにあるスイッチを押すだけで、スピーディに電動開閉できるのがいいですね。

**時東**：スイッチを押し、扉が開いたことを確認したら、すぐに消防車両が出場でき

るわけですね。1秒でも早く出場するための時間短縮にもなっていますね。

**溝淵**：しかもスムーズに静かに開閉するので、深夜の出場でも近隣にご迷惑をかけることが少ないと思います。それに横開き折れ戸のいいところは、手動でも簡単に開けられることです。

**大桐**：建物入口横の受付には、一斉開放できるスイッチもあります。例えば地震があったときなどは、何はさておき消防車両を車庫から出して備えなければいけないんですが、そんなときも受付からリモートコントロールで開閉できるのが便利です。

**時東**：オーバーヘッドドアですと、閉まっていると何の建物か全くわかりませんが、ガラス扉だと閉じていてもよく見えますね。

**菅井**：ここの周辺は住宅街で、先日はお母さんとお子さんがガラス越しに中を見ながら話していたので、扉を開けてお子さんを消防車の運転席に座らせてあげたことがありました。

**時東**：とても喜ばれたでしょう。それって地域興しといえますね。親近感がわいて、そのお子さんはきっと将来、職員になると思いますよ。皆さん、お忙しい中、今日はありがとうございました。

# スタイリッシュな扉は あの有名な建物を手掛けた会社から!

金属を使った建築物の外装や内装を手掛ける会社で、1933年の創業。  
菊川工業がめざすメタルアーキテクトは、あらゆる金属を用いた建材の開発から加工、  
設置まで、幅広いニーズに対応。日本全国の都市空間でひととき目につく建物やインテリアは、  
誰もが一度は目にしたことのある有名なランドマークとなっています。

【施工例】 ■フジテレビ本社ビル チタン球体展望室  
■東京スカイツリー 展望台のアルミパネルやシースルーガラス床枠

取材協力を  
いただいた  
のは…



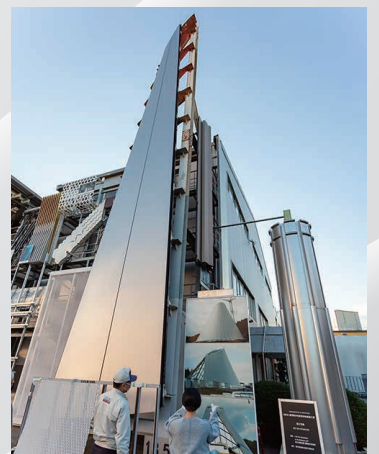
菊川工業株式会社  
KCT建材部 次長  
奥野木宏一さん

## 消防署のイメージを変えた菊川工業さんを特別レポート!

**時東** : 千葉県白井市にある菊川工業さんの工場には、いたるところにいろいろな作品のサンプルが展示されていますね。  
**奥野木** : 菊川工業の製品は、基本的にすべてオーダーメイドで大量生産することはありません。ですから、受注する際に様々なサンプルを見ながら、どんな金属でどんな加工が必要かを検討するんです。  
**時東** : 広い工場内では、作業員の方が黙々と加工をしているという感じで、意外に静かですね。  
**奥野木** : オーダーメイドですから、ひとつひとつ作品をつくる感覚ですね。ですから加工する機械や道具、システムは、他にはないものが多くあります。例えば、この工場にある金属を曲げるベンダーマシンは8m級で、これだけの大きさを設備しているところは他にないでしょう。

## 工場の敷地内には、いたるところにサンプルが展示

**時東** : え～すごい、この大きなパネルは何ですか?  
**奥野木** : これは、ある学校法人のチャペルの外壁の部材なんです。わずかにねじれた18.5mの超大型ステンレスパネルで、1枚板でできています。ほとんど平らに見えますが、微妙なカーブを形成していて、1枚1枚異なったカーブのものを組み上げると美しい円錐形の建物になるんです。  
**時東** : 岩槻消防署に設置されている折り戸もかなり大型ですけど、それもここで造られているんですか?  
**奥野木** : あの折り戸は「しゅもん」という製品名で、ドイツのガートナー社と技術提携して製造・販売しています。菊川工業が注文を受けるとドイツに発注し、約半年かけてスチール製の枠と駆動部分が届きます。この工場では、その枠にフッ素樹脂塗装で最終仕上げを施して出荷します。駆動部分が収まる点検口のパネルや、折り戸の枠と枠の間のパネルも、菊川工業が建築物に合わせて造っています。  
**時東** : つまり扉のサイズもカラーも、他にはないただひとつのものとして完成されるわけですね。今日はありがとうございました。



## これまでの消防署のイメージを一新する、 超大型折り戸「しゅもん」

- スタイリッシュな外観、採光性に優れた開放的なガラス扉。
- 横開きの大開口折れ戸なので故障が少なく、手動開閉時でも扉が落ちる心配がありません。
- 頻繁な開閉操作に対応した堅牢な駆動機構。  
(設計耐用開閉回数20万回以上)
- 電動によるスムーズな動作で、深夜の開閉にも安心の静粛性。
- 故障知らずでランニングコストに優れています。

お問合せは **菊川工業株式会社** KCT建材部  
TEL: 047-492-2014 FAX: 047-492-6672 [www.citytexture.com](http://www.citytexture.com)

(受付時間 9:00-17:00 [土・日・祝日除く])